

# 経済教育学会 第30回全国大会(30周年記念大会)

全体テーマ:「未来を拓く経済教育——その目標と内容を求めて」

<日時>2014年9月20日(土)～9月21日(日)

<会場>立命館大学衣笠キャンパス

〒603-8577 京都市北区等持院北町56-1

## 経済教育学会第30回全国大会の開催にあたって

大会実行委員長 角田修一 (立命館大学)

経済教育学会はその淵源をたどると、1981年9月札幌で開かれた「経済学教育をめぐる研究討論集会」に行きつきますが、直接には本学会の前身である経済学教育研究会創立時となります。この創立大会は、1985年11月3-4日、立命館大学衣笠キャンパスの末川記念会館で行われました。したがって、今年2014年は本学会創立30周年にあたります。

創立時の会員は、主として大学で経済学を教える教員を中心に構成されていましたが、今日では会員層は大きく広がっています。子どもからシニアまでの多様な学習者の経済への興味・関心に応え、学習者の間に経済良識(エコノミック・リテラシー)を育むにはどうしたらよいかといった経済教育の目標・内容・方法・制度を総合的に論じることができるようになりました。しかし他面、会員の問題関心の幅が広がることは、経済教育の土性骨ともいべき共通項—経済教育の目的と中核的な内容の鮮明化を要請することにもなっています。

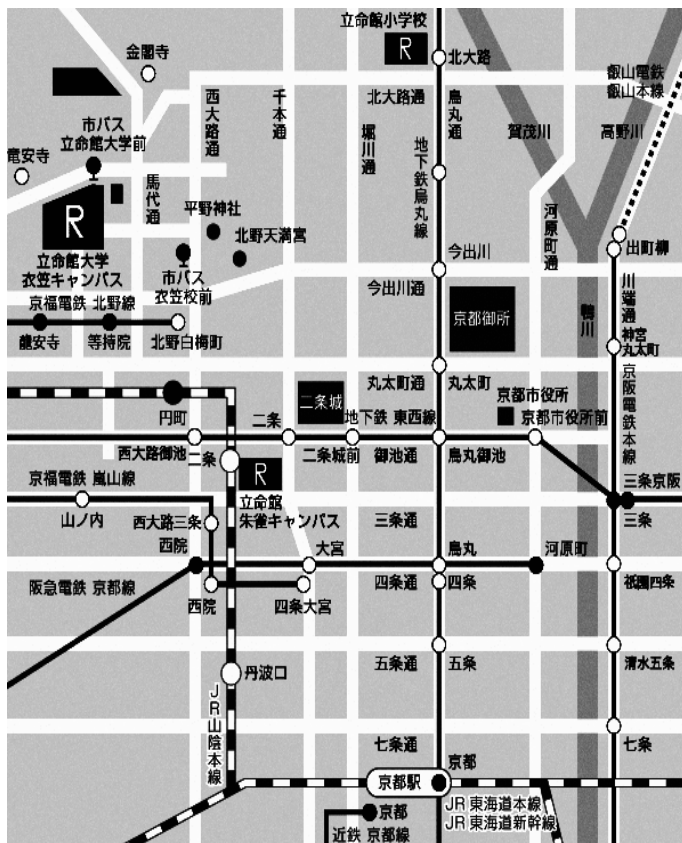
本学会が30年の歩みを刻んだことを記念し、本年は、創立大会と同じ立命館大学衣笠キャンパスに立ち戻り、2014年9月20日(土)ー21日(日)両日、第30回大会を開催します。30年の経過を振り返り、「未来を信じ、未来に生きる」(末川博)青年学生の根本的な欲求に応えるために「経済教育の目標と内容」をどのように定めたらよいかをみなさんとともに探求したいと思います。

(第30回大会(30周年記念大会)実行委員会)

角田修一、大野隆、藤岡惇、高野剛、橋本貴彦、松尾匡、松本朗(立命館大学経済学部)

\*会員以外も自由に参加できます。入場は無料です。事前の申し込みがなくても参加できます。  
ご興味・ご関心のある方は、お気軽にご参加ください。

## 【アクセス】



JR・近鉄 京都駅 (烏丸中央口)	市バス 50 (京都駅B2のりば) 快速205 (京都駅B3のりば)	立命館大学前(終点)	約35分
	市バス 205 (京都駅B3のりば)	衣笠駅前	徒歩 約10分
京都バス 京都駅前	JRバス 高麗・京北線 (京都駅JR3番のりば)	立命館大学前	約30分
	市バス 205	衣笠駅前	徒歩 約10分
阪急 西院駅	西大市バス 西大路四条	立命館大学前(終点)	約20分
	市バス 快速202 快速205	立命館大学前(終点)	約20分
	市バス 26	等持院道	徒歩 約10分
西京院福 西院駅	京福電鉄 嵐山本線・北野線	龍安寺駅	徒歩 約6分
	約25分	等持院道	約6分
阪急 大宮駅	市バス 55	立命館大学前(終点)	約20分
	市バス 15	立命館大学前(終点)	約30分
京阪 三条駅	市バス 59	立命館大学前	約30分
	市バス 15 55	立命館大学前(終点)	約15分
JR・地下鉄 二条駅	市バス 15 快速202 快速205	立命館大学前(終点)	約10分
	市バス 204 205	衣笠駅前	徒歩 約10分

※土日・連休

\*衣笠キャンパスへのアクセスに関するお問い合わせ：TEL 075-465-8149 (衣笠キャンパス事務課)

ホームページ：[http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap\\_kinugasa\\_j.html](http://www.ritsumei.jp/accessmap/accessmap_kinugasa_j.html)

## 【お願い】

- 大会当日は大学院入試と重なっており、会場も入試会場と重複しております。細心の注意を払い、ご来校及びご来場ください。当日は方向指示の看板等の用意をする予定です。
- 宿泊は各自で手配してください。
- お弁当は用意いたしません。9月20日(土)は存心館BFの生協食堂を利用するか、衣笠キャンパス近隣の飲食店でお願いいたします。21日(日)は生協食堂がお休みですので、近隣の飲食店で昼食をお願いします。
- 懇親会は会費5000円です。経済教育学会のホームページにある参加申し込みのフォームで予約してください。
- 研究報告要旨集は、学会のホームページからダウンロードできます。当日、冊子のものを1,000円で販売しますが、部数に限りがありますので、できるかぎり、ホームページ掲載のものをプリントアウトしていただきますことをお願いいたします。

## 問合せ先

〒670-0948 兵庫県姫路市北条宮の町 172 株式会社サルト経済教育学会担当

FAX:079-224-7746 E-Mail:[office@ecoedu.jp](mailto:office@ecoedu.jp)

## 大会スケジュール

第1日目(9月20日・土曜日)

■大会受付開始：9時30分～

■分科会報告(第一分科会～第四分科会)

時間：10時00分～12時40分

場所：清心館4階(542～545教室)

分科会 No.	分科会名	No.	発表者名	テーマ	
第一分科会	初等中等における経済教育(1)	1	伊藤 達也(名古屋市立志段味中学校)	シミュレーション教材を効果的に活用した経済教育	
		司会	2	田村 徳至(信州大学)	中学校社会科における金融消費者教育学習プログラム構想
			3	力丸 剛(横浜市立潮田中学校)	自作のデジタル教材を活用した、経済が見える化授業
		教室(清心館542)	4	松井 克行(西九州大学)	日本金融システム史に基づく高校「公民科」経済学習の教育内容開発(3)
第二分科会	キャリア教育と実践教育	1	田中 淳(東京都立産業技術高等専門学校)	新卒採用におけるミスマッチを解消するための就職指導の改善の試み	
		司会	2	中里 弘穂(福井県立大学)	若年者の早期離職の要因と職場並びに教育現場での効果的な対策を考える
			教室(清心館543)	3	藤本 晴久(鳥取短期大学)
第三分科会(30周年記念分科会)	学習者とともに経済教育の改善をめざす—学会理念の継承と発展—	1	三宅忠和(日本大学) 角田 収(日本大学)	30年の歴史を振り返って、学会の発展方向を考える	
		司会	2	赤井 幸輝 堀川 大地 (立命館大学経済学部自治会オリター団)	新入生を支援する76名の「オリター(オリエンテーター)団」活動の魅力と中高大の教員の皆さんへの要望
			教室(清心館544)	3	岩田 雄大 世良 拓未 (立命館大学経済学会学生委員会)
第四分科会	地域の経済教育	1	金井 萬造(立命館大学)	観光の現地と密着した振り返りの実践的観光経済論の教育の進め方	
		司会	2	佐藤 進(松本新興塾)	地域リーダー養成の目的と方法
			教室(清心館545)	3	金子 能呼(松本大学松商短期大学部)

■12 時 40 分～13 時 50 分： 休憩・昼食 （並行して理事会：末川会館第 2 会議室）

■13 時 15 分～13 時 50 分： （エクスカーション）国際平和ミュージアム ガイド付きツアー

キャンパスの東に、設立 23 年目にして 90 万人の見学者を迎えた「立命館大学国際平和ミュージアム」があります。平和とは健康な社会関係のことだとすれば、経済教育の目標を考へるうえで、逸することのできない学習施設です。無料のガイド付きツアーを行ないますので、希望者は、馬代通りに面したアカデメイア立命（地下—2 階がミュージアムです）の 1 階ロビーに、午後 1 時 15 分にお集まりください。

■14 時～17 時： **30 周年記念シンポジウム 1（共催：立命館大学経済学会）**

（場所：創思館 1 階カンファレンスホール）

**テーマ：経済教育への社会の期待とは何か、これにどう応えるか**

本大会の全体テーマの「経済教育の目標・内容」を深めるために、3 人のパネリストの提言をお聞きし、討論につなげます。学問的真実に根ざし、学習者にとっての一步前進につながる経済教育のありかたをともに探究しましょう。

（パネラーとテーマ）

1) 持続可能な幸せ社会を創るために

枝廣淳子（ジャパン・フォー・サステナビリティ代表、幸せ経済社会研究所長）

2) 若者の実態を直視し、社会の進路も同時に拓くキャリア教育・経済教育

児美川孝一郎（法政大学キャリアデザイン学部教授）

3) 原発学習・福島調査のなかで気づいたこと、伸ばせた力

石川康宏（神戸女学院大学） & ゼミ学生集団

司会：中里弘穂（福井県立大学）、藤岡惇（立命館大学）

■17 時～18 時 学会総会（場所：創思館 1 階カンファレンスホール）

■18 時 10 分～19 時 45 分 懇親会（場所：末川記念会館地階レストラン「カルム」）

**\*大会当日の緊急連絡先は、立命館大学経済学部・高野剛のメール ([keizaikyoubu30th@gmail.com](mailto:keizaikyoubu30th@gmail.com)) にお願ひします。折り返し連絡いたします。携帯メールでも対応できます。**

第2日目(9月21日・日曜日)

■分科会報告(第五分科会～第九分科会)

時間:9時30分～12時10分、場所:以学館3階(31～38教室)

分科会 No.	分科会名	No.	発表者名	テーマ
第五分科会	経済教育の国際比較	1	金子 浩一(宮城大学)	海外日本人学校の教育に関する調査 — 公民・経済分野の内容を踏まえて—
司会	加納 正雄 (滋賀大学) 中里 弘穂 (福井県立大学)	2	権善喜(明治大学大学院) 鄭年皓(愛知淑徳大学)	日本における「学生の県名思考」と韓国における「学生の道名思考」
		3	金子 幹夫 (神奈川県立平塚農業高等学校 初声分校)	カーナビゲーションを意識した経済教育 — 税・財産権を基盤とした授業実践報告—
教室(以学館31)		4	佐々木 謙一(北海道教育大学)	フィリピンの高校経済学における評価について
第六分科会	初等中等における経済教育(2)	1	炭谷 英一(神戸市消費生活マスター)	「ポスト新古典派意思決定教育試論」初等教育段階からの基本文法—経済学参照基準からの視座から—
司会	高橋 勝也 (東京都立桜修館中等教育学校) 河原 和之(東大阪市立縄手中学校)	2	福田 秀志(兵庫県立尼崎小田高等学校)	市場にまかせれば、うまくいくのか? — アベノミクスの「成長戦略」を考える! —
		3	太田 正行(慶應義塾大学)	高等学校商業科における経済学習 — 社会科・公民科との関連—
教室(以学館32)		4	奥田 修一郎(大阪狭山市立南中学校)	経済的な見方・考え方を養う中学校社会科歴史分野の教材開発 — 貨幣・通貨からの流通経済史を着眼点にして—
第七分科会	国際的視野から見た経済教育—韓国と日本—(通訳あり)	1	Kyungmo Kim(金景模) (慶尚大学師範学部、韓国経済教育学会副会長)	韓国における経済教育の研究動向の紹介と分析
司会	藤岡 惇 (立命館大学) Bae Kwang Woong (裴光雄) (大阪教育大学)	2	Kyungdong Hahn(韓暎東)(韓国外国語大学経済学部、韓国経済教育学会編集部長) Kyunggho Jang(張景皓)(仁荷大学師範学部、韓国経済教育学会総務部長) Seon Hye Song(ソン・ソンヘ)(韓国外国語大学経済学科博士課程)	An Analysis on National Official Qualification Tests for Economics (韓国の経済学国家公認資格試験分析)
		3	山岡 道男(早稲田大学) 浅野 忠克(山村学園短期大学) 阿部 信太郎(城西国際大学)	高校生の経済リテラシーの現状 — TEL4の結果を中心に—
教室(以学館33)				
第八分科会	現代の経済政策と経済教育	1	箕輪 京四郎(元横浜商業高校)	山家悠紀夫「何のための『負担増』か—アベノミクスの1年」を読む
司会	新里 泰孝 (富山大学) 松尾 匡 (立命館大学)	2	阪本 将英(専修大学商学部) 在間 敬子(京都産業大学)	震災復興ならびに地域活性化に向けた情報発信の有効性と課題—宮城県石巻市のキッズ・メディア・ステーションを事例に—
		3	猪瀬 武則(日本体育大学)	グローバル化の経済と倫理を教える — 援助と開発のプログラム—
教室(以学館34)		4	塩田 尚樹(獨協大学)	CRS企業の利潤最大化問題教授法についての考察
第九分科会	金融と経済教育	1	飯嶋 香織(神戸山手大学)	金融教育の中心的課題とは: 大学生を対象に
司会	岩田 年浩 (京都経済短大) 増田 和夫 (京都経済短大)	2	糸井 重夫(松本大学松商短期大学部)	経済・金融教育におけるICTを活用した「反転授業」の有効性と課題
		3	斎藤 清(元兵庫県立大学)	金融庁次世代EDINET対応の経済・会計教育システム
教室(以学館35)		4	新井 明(都立小石川中等教育学校)	経済教育と金融教育の間—センのケイパビリティ論を手がかりに—

■12 時 10 分～12 時 50 分： 休憩・昼食 （並行して理事会：末川会館第 2 会議室）

■13 時—14 時： **経済教育学会大会 30 周年記念講演** （場所：以学館 3F 31 教室）

テーマ：未来を拓く経済教育の目標と内容

講演者：ハインツ・クルツ（グラーツ大学経済学部教授）

司会：八木尚志（明治大学）

■14 時 10 分—16 時： **30 周年記念シンポジウム 2** （場所：以学館 3F 31 教室）

テーマ：学士課程における経済(学)教育の目標と内容

—学生実態、社会的期待、学問的真実の視点から学会会議の参照基準問題を考える—

参照基準問題を通じて経済教育のありようを参加者みんなで考究しましょう。

司会：橋本勝（富山大学）

1) 「参照基準問題の経過と所見」 八木紀一郎（摂南大学）

2) 「参照基準問題を考える」 岩田年浩（京都経済短期大学）

【キャンパスマップ】

